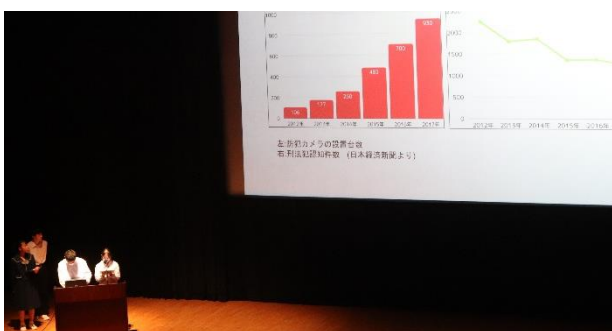




SSH交流フェスタ

11月19日、カクイックス交流センターで県内のSSH校5校が集まり、「SSH交流フェスタ」が開催されました。このイベントは、課題研究に取り組む高校生の探究力やプレゼンテーション能力を向上させるとともに、学校間の連携を深め、より質の高い課題探究プログラムの創設を目指すものです。

本校からはスライド発表で2班、ポスター発表で4班が参加し、探究Ⅱの授業で取り組んでいる課題研究を発表しました。



<生徒の感想>

- 他校の発表や研究は質が高く、深い探究心や実験の工夫が見られた。細部まで作り込まれており、発表方法も堂々としていて参考になった。
- ポスター発表時には相手を意識して話し、聞き手の反応を見ることの大切さを学んだ。
- 他校の発表から、実験データを多く集めることの重要性を学んだ。これにより信憑性が高まり、説得力のある発表が可能になると感じた。
- 他校からの鋭い質問やアドバイスは、新たな視点やアイデアのきっかけとなり、自分達の探究をより良くするための刺激となった。

発行：SSH推進部広報係
2024年12月発行

鹿児島大学との連携協定

11月25日、鹿児島大学理学部と鹿児島中央高等学校は、高大接続および課題研究に関する連携協定を締結しました。この協定により、探究活動において鹿児島大学理学部の先生方から指導や協力を得る機会が増えるほか、理学部が実施している「先取り科目履修制度」を積極的に活用できるようになります。

これまで、運営指導委員や各種発表会での審査員として多大なご協力をいただきましたが、今回の協定締結を通じて、双方の連携がさらに深まり、より実りある交流が期待されます。



女性科学研究者講演会

12月6日、理系分野で活躍する女性研究者の経験や視点を共有し、次世代を担う理系女子を支援することを目的に、トヨタ車体研究所の二反田あゆみさんを講師に招いた講演会を開催しました。二反田さんは本校の卒業生で、現在はボデー開発部評価部門に勤務されています。講演では、先生のキャリアや日々の業務について、具体的な事例を交えながらわかりやすく紹介されました。また、実際の車両部品に触れながらその性能を考えるクイズや、空力解析のモデル実験を披露するなど、多彩なアプローチで車両開発の魅力を伝えてくださいました。

